

長谷川伸 没後 50 年 記念企画

横浜・日ノ出町で生まれ育った 大衆文学界の巨匠 長谷川伸。
今なお人々に愛される長谷川作品の原点に迫る！

「瞼の母」や「一本刀土俵入」など、現在も広く親しまれる作品を生み出した作家 長谷川伸。横浜・日ノ出町に生まれ、横浜ドックの建設現場で働き、伊勢佐木町を中心としたかつての横浜の興行街に度々足を運んだことは、のちに生み出される作品の数々に大きく影響しているといわれています。

長谷川伸ゆかりの地にある横浜にぎわい座では、公演と展示で長谷川伸を顕彰し、当時の横浜の様子も紹介します。

公演 落語と節劇でふりかえる長谷川伸

代表作のひとつである『瞼の母』を、ふしげき節劇(※)にて上演。また当館館長の桂歌丸と、桃月庵白酒による落語で、長谷川伸が生きた時代をふりかえります。

※節劇（ふしげき）…浪曲の節にのせて役者が演技をする大衆芝居。主に喜劇。

2013年7月8日（月）19:00開演（18:30開場）
入場料：3,000円（全席指定） 4月25日（木）発売開始
会 場：横浜にぎわい座 芸能ホール

●番組

<第一部> 桂歌丸「鍋草履」、桃月庵白酒「強情灸」

<第二部> 節劇『瞼の母』 出演＝浅草21世紀、浪曲：瑞姫（曲師：紅坂為右衛門）

○公演チケットのお求め

横浜にぎわい座 045-231-2515（受付時間 10:00～21:00）

チケットぴあ、ローソンチケットにて

展示 長谷川伸とふるさと横浜

舞台や映画など幅広いジャンルで取り上げられた長谷川作品を様々な資料でふりかえるとともに、長谷川伸が過ごした当時の横浜の様子を写真や地図などで紹介します。（企画監修：布目英一）

2013年6月1日（土）～7月15日（月・祝）10:00～22:00

※会期中休館日…6/19（水）、6/20（木）：7/15（月・祝）は17:00まで

会 場：横浜にぎわい座 2F 展示スペース 【入場無料】

お問い合わせ先

横浜にぎわい座 副館長 宗方律 Tel 045-231-2525

横浜にぎわい座 担当：堀利文・堀内美穂